【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【公表番号】特表2009-543266(P2009-543266A)
【公表日】平成21年12月3日(2009.12.3)
【年通号数】公開・登録公報2009-048
【出願番号】特願2009-518091(P2009-518091)
【国際特許分類】
Ｇ１１Ｂ　27/10　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/76　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　20/10　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　27/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１１Ｂ　27/10　Ａ
Ｈ０４Ｎ　5/76　Ａ
Ｇ１１Ｂ　20/10　３２１Ｚ
Ｇ１１Ｂ　27/00　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成21年11月4日(2009.11.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
媒体コンテンツにおけるトリック・モード抑制を制御する方法であって、
前記媒体コンテンツ中の、少なくとも１つのトリック・モード使用不可部分の存在を識別するステップと、
前記媒体コンテンツの前記少なくとも１つのトリック・モード使用不可部分をモニタして、どの部分が視聴されたかを判定するステップと、
プレビュー条件を満たすトリック・モード使用不可の媒体コンテンツの前記視聴された部分に対してトリック・モード機能を回復するステップと、
を含む、前記方法。
【請求項２】
前記媒体コンテンツがプレビュー条件を満たすとき、前記トリック・モード機能がリアル・タイムで回復される、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記プレビュー条件が、前記媒体コンテンツと共に受信される、請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記プレビュー条件が、トリック・モード機能が回復可能になるまでに前記媒体コンテンツのトリック・モード使用不可部分の視聴が必要な回数を規定する、請求項１に記載の方法。
【請求項５】
前記媒体コンテンツのどのトリック・モード使用不可部分が視聴されたのか、および、その各部分が、それぞれ何回視聴されたのかに関する情報を記憶するステップをさらに含む、請求項１に記載の方法。

【請求項６】
前記媒体コンテンツの前記トリック・モード使用不可部分がコマーシャルを含む、請求項１に記載の方法。
【請求項７】
媒体コンテンツにおけるトリック・モード抑制を無能化する方法であって、
前記媒体コンテンツの信号を調べて、少なくとも１つのトリック・モード使用不可部分の存在を識別するステップと、
前記媒体コンテンツの前記少なくとも１つのトリック・モード使用不可部分をモニタして、どの部分が視聴されたかを判定するステップと、
プレビュー条件を満たすトリック・モード使用不可の媒体コンテンツの視聴された部分に対してトリック・モード機能を回復するステップと、
を含む、前記方法。
【請求項８】
前記プレビュー条件が、前記媒体コンテンツと共に受信される、請求項７に記載の方法。
【請求項９】
前記プレビュー条件が、トリック・モード機能が回復可能になるまでに前記媒体コンテンツのトリック・モード使用不可部分の視聴が必要な回数を規定する、請求項７に記載の方法。
【請求項１０】
前記媒体コンテンツのどのトリック・モード使用不可部分が視聴されたのか、および、その各部分が、それぞれ何回視聴されたのかに関する情報を記憶するステップをさらに含む、請求項７に記載の方法。
【請求項１１】
前記媒体コンテンツの前記トリック・モード使用不可部分が広告セグメントを含む、請求項７に記載の方法。
【請求項１２】
媒体コンテンツにおけるトリック・モード抑制を制御するシステムであって、
トリック・モードを選択可能にするユーザ・インターフェースと、
前記媒体コンテンツ、プログラムおよび命令のうちの少なくとも１つと、前記媒体コンテンツに関する情報とを記憶する記憶手段と、
前記記憶手段と通信するプロセッサであって、
少なくとも１つのトリック・モード使用不可部分の存在を識別するために、前記媒体コンテンツを調べることと、
どの部分が視聴されたかを判定するために、前記媒体コンテンツの前記少なくとも１つのトリック・モード使用不可部分をモニタすることと、
プレビュー条件を満たすトリック・モード使用不可の媒体コンテンツの視聴された部分に対してトリック・モード機能を回復することと、
を実施するように構成された、前記プロセッサと、
を含む、前記システム。
【請求項１３】
前記ユーザ・インターフェースが、無線遠隔制御、マウスまたはトラックボールのようなポインティング・デバイス、音声認識システム、タッチ画面、オン・スクリーン・メニュー、ボタン、およびノブのうちの少なくとも１つを備える、請求項１２に記載のシステム。
【請求項１４】
当該システムが、前記媒体コンテンツを再生するためのオーディオ／ビデオ再生装置を備える、請求項１２に記載のシステム。
【請求項１５】
当該システムが記録装置を備える、請求項１２に記載のシステム。